



議会せきがはら

第
178
号



青少年ふるさと歴史ガイド講座

(令和3年7月28日撮影)

笹尾山・石田三成陣跡や床几場・徳川家康最後陣地など、町内の史跡地を巡りながら、ガイドの実践練習を行いました。

2～4頁

◆関ヶ原町景観条例を制定

～第4回定例会～

5～8頁

◆関ヶ原町のココを聞く！ 一般質問

第4回 定例会

6月4～18日

関ヶ原町景観条例を制定

美しい自然と誇りある歴史の中で
暮らししていくまち 関ヶ原を
目指して

報告・承認	1件
条例算	6件
条予	11件
その	2件

令和3年第4回関ヶ原町

議会定例会は、6月4日（金）
から6月18日（金）までの15
日間、条例の制定及び改正、
補正予算などの審議を行い、
いずれも原案の通り可決し
た。最終日には、3議員が一
般質問した。

報告・承認

☆一般会計繰越明許費繰越計
算書の報告

令和2年度一般会計補正予
算で定めた保育園空調等整備
事業、関中通り線道路改良事
業、景観計画策定業務委託料
など6事業に係る歳出予算の
経費を令和3年度へ繰り越し

したため、繰越明許費繰越計
算書により報告を受けるもの。

条例関係

☆行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正

「デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律」が公布され、「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」が一部改正されたことに伴い、所要の改正を行うもの。

☆個人情報保護条例の一部改正

「デジタル庁設置法」の公布及び「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの。

☆手数料徴収条例の一部改正

「デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律」が公布され、「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」が一部改正されたことに伴い、個人番号カードの再交付手数料を削除するもの。

☆家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

「家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準」の一部を改正する省令の公布及び施行に伴い、所要の改正を行うもの。

☆特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

「特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準」の一部を改正する内閣府令の公布及び施行に伴い、所要の改正を行うもの。

行うもの。

☆景観条例の制定

産業建設常任委員会付託
景観の形成の基本理念その他良好な景観の形成に関する基本的な事項及び景観法の施行に関し必要な事項を定めることにより、町民、事業者及び町が協働して関ヶ原らしい良好な景観の形成を図るため、新たに条例を制定するもの。

予算関係

☆介護サービス事業特別会計への繰入金の変更

人事異動に伴う人件費増額のため、一般会計からの繰入金を次のように変更する。

変更前 6, 300万5千円
変更後 7, 265万2千円

☆今須農業集落排水事業特別会計への繰入金の変更

人事異動に伴う人件費増額のため、一般会計からの繰入金を次のように変更する。

変更前 5, 114万6千円
変更後 5, 172万7千円

☆一般会計補正予算(第2号)

歳出は、過疎地域持続的発展市町村計画策定業務委託料、新型コロナウイルス感染症対策関連経費、子育て世帯生活支援特別給付金、プレミアム商品券発行事業補助金等を追加。歳入は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金や子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費補助金等の追加により、歳入歳出予算それぞれ4, 981万5千円を追加し、総額38億3, 574万2千円とするもの。

下表参照

☆国民健康保険特別会計(直診勘定)補正予算(第1号)

人事異動に伴う人件費の減額に伴い、歳入歳出予算それぞれ72万8千円を減額し、総額5億9, 177万2千円とするもの。

☆介護保険特別会計補正予算(第1号)

介護認定ソフトのバージョンアップに伴う入力ソフトウェア及び認定調査票の購入費の増額に伴い、歳入歳出予算それぞれ17万6千円を追加し、総額8億5, 297万6千円

とするもの。

☆介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)

看護小規模多機能型居宅介護事業の体制強化に伴う人件費等の増額に伴い、歳入歳出予算それぞれ970万5千円を追加し、総額2億5, 320万5千円とするもの。

☆今須農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

人事異動に伴う人件費の増額に伴い、歳入歳出予算それぞれ58万1千円を追加し、総額6, 968万1千円とするもの。

☆公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)

人事異動に伴う人件費の増額に伴い、歳入歳出予算それぞれ39万9千円を追加し、総額3億7, 609万9千円とするもの。

☆水道事業会計補正予算(第1号)

収益的支出において、平井浄水場及び藤古川浄水場のPAC貯留槽の清掃、平井浄水場の前処理ろ過設備の緊急修繕工事や漏水に伴う修繕費等が必要となったことに伴い、1, 261万6千円を追加するもの。

☆一般会計補正予算(第3号)

令和2年7月の第5回議会臨時会において議決した民事調停申立事件の和解成立に伴う関係経費の増額により、歳入歳出予算それぞれ373万円を追加し、総額38億3, 947万2千円とするもの。

☆介護保険特別会計補正予算(第2号)

令和2年度介護保険料の還付額が確定し、償還金の不足が生じるため、歳入歳出予算それぞれ29万2千円を追加し、総額8億5, 326万8千円とするもの。

令和3年度一般会計補正予算【第2号】主なもの

4, 981万5千円を追加

歳入

・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	3, 120万円
・子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費補助金	425万円
・子育て世帯生活支援特別給付金給付事務費補助金	65万円
・中山間地域等担い手育成総合支援事業費補助金	375万円
・前年度繰越金	712万1千円

歳出

・過疎地域持続的発展市町村計画策定業務委託料	300万円
・新型コロナウイルス感染症対策用備品	417万4千円
・子育て世帯生活支援特別給付金事業	490万円
・中山間地域等担い手育成総合支援事業費補助金	375万円
・プレミアム商品券発行事業補助金	780万円
・小・中学校施設工事(自動水栓・トイレ洋式化)	585万円
・オンライン授業環境整備事業	511万5千円
・施設予約システム導入関連経費	567万3千円

その他

☆和解

令和2年7月の第5回議会臨時会において議決した民事調停申立事件を和解することについて、地方自治法第96条第1項第12号の規定により、議会の議決を求めるもの。

☆西南濃粗大廃棄物処理組合規約の変更に関する協議

組合議会の組織及び職員員の選任方法と執行機関の選任方法の規定について、所要の改正を行うため、地方自治法第290条の規定により、議会の議決を求めるもの。



議会運営委員会

5月24日
第4回町議会定例会の会期日程等について協議した後、総務課長から提出予定議案の説明を受け、質疑応答を行った。

第4回定例会においても、新型コロナウイルス感染症の感染予防の観点から、一般質問は再質問までとすることを決めた。

産業建設常任委員会

6月9日
定例会初日に審査を付託された「議案第53号 関ヶ原町景観条例の制定について」を協議した。はじめに産業建設課長から景観条例の概要について説明があり、次に担当職員から景観計画と併せて、詳細な説明を受けた。出席委員より他法との関連や想定され

る具体的な影響など質疑があり、適宜回答を得た。その後、委員による慎重審議の結果、全会一致で原案の通り可決すべきとの結論に達した。

景観の定義

「景観」とは、山並みや河川、町並み、人々の暮らし等、私たちが日頃接している風景や景色のことです。景観は目にみえるものだけでなく、自然、歴史、文化に伴う雰囲気等、私たちが感じるものも含まれます。



▲決戦地



▲岡山烽火場の竹林

子安議長が 関ヶ原小学校で 講義を行いました

令和3年5月13日(木)、子安議長と関東議会事務局長が関ヶ原小学校6年の「総合的な学習の時間」の授業の中で、町議会について講義を行いました。
はじめに議会事務局長から、『町議会って何?』をテーマに、町議会議員のこと、本会議や委員会のことなど、議会の概要について説明がありました。



続いて、子安議長からは、6年児童が生まれた12年前と現

在の町広報紙のコピーが配布されました。内容を比較することで見えてくる人口減少等、町が抱える課題と今後の対策における町議会議員の権限や任務等について説明がありました。



「今年4月に関ヶ原町で大きく変わったことは?」という子安議長からの質問に、小学校と中学校の統合以外にも、体育館の照明のLED化など、身近な変化に気づいている児童が多く、積極的に発言する姿や議長と事務局長の話を真剣に聞く姿が印象的でした。

関ヶ原町のココを聞く！ 一般質問

第4回議会定例会質問者

楠 達男 議員
高木 博之 議員
田中由紀子 議員



楠 達男 議員

質問1

今後の新型コロナウイルス感染症とコロナ後を見据えた町の活性化について

問 関ヶ原町では6月9日時点で25名の方の感染が報告されている。家族間や友人同士の感染が増え、年齢層も広範囲にわたっている。こうした現状を踏まえ、今後の感染防止対策について伺う。

①現時点での町民の接種率と接種済数はどれくらいか。また、これまでに接種による副反応やトラブルの発生はあるのか伺う。
②64歳以下、小中学生、6歳未満、基礎疾患のある方の接種に関して、具体的な時期及

び方法について伺う。また、接種希望者全員の2回目の接種が終わるのはいつ頃を予定しているのか。

③ワクチンを接種しても感染リスクがゼロになることはない。今後の行政としての予防対策はどのように考えているのか。また、家庭内での感染防止や行動範囲が広い年齢層の方への具体的な啓蒙が必要ではないか。

④集団接種会場となっている今須体育館とふれあいセンターは緊急避難所に指定されているが、万一の場合、住民の避難誘導等の対応はどうするのか。マニュアルも必要ではないか。

⑤関ヶ原町のワクチン接種が大きなトラブルもなく順調に進んでいるのは、業務に携わる方々の努力の結果である。コロナ対策の最前線で業務に従事している職員の努力に報いる方策を町長にぜひ検討していただきたい。

答【町長】

①令和3年6月16日現在、1回目の接種を終えた方は1,973人で、全町民に対する接種率は約29%、2回目の接種を終えた方は263人で接種率は約4%となっている。

なお、65歳以上の高齢者の方については、対象者2,730人に対して約70%の方が1回目の接種を終えている。7月末までに希望者全員の接種を終え、対象者の約90%の方が接種済みとなる予定である。

副反応については、接種部位の疼痛や発熱等があったということは聞いているが、集団接種会場において、救急車を手配するなどの対応に迫られたということは現在までには起きていない。

接種におけるトラブルについては、注射針と注射器の組み合わせの誤りにより、微量のワクチンが残る事案が発生した。半分以上接種できており、再接種の必要はないが、町民の方々に大変ご心配をお

かけしたことを心よりお詫び申し上げる。今後はチェック体制の強化及び職員の増強を図り、再発防止の徹底に努めていく。

③岐阜県の新規感染者数は減少傾向にあるが、油断できない状況が続いている。マスクの着用、手指衛生、密の回避、体調の管理など、引き続き一人一人が感染対策を徹底していただきたい。今後も防災無線やホームページ、リーフレットなどを活用し、感染防止対策やコロナハラスメントの防止の啓蒙に努めていく。

⑤ワクチン接種業務に従事する職員には無理をお願いしている部分もあるが、接種従事者も同様に町民の皆さんのため、しっかりと業務に当たっており、従事者の方々には感謝と敬意を払っている。医療従事者、町職員としての責務もあり、全町民のワクチン接種も完了していないため、方策については今後検討していく。

【医療保健課長】

②現時点の接種計画について、集団接種と個別接種を併用し、7月上旬に基礎疾患のある方から順に、医療機関での個別接種を実施する。その後、60歳から64歳の方、社会福祉施設等従事者・未接種の医療従事者・小中学校及び保育園等の従事者の方を優先接種対象として、7月中に接種が実施できるよう準備を進めている。その後、40歳から59歳、16歳から39歳という順に8月及び9月から接種を開始し、希望者全員の2回目の接種が終わる時期を11月上旬とする計画を立てている。なお、16歳から64歳までの接種対象者は約3,300人で、そのうちアンケート結果による接種希望者は2,400人となっている。現在のところ、64歳以下の接種率は約72%になると見込んでいる。小中学生や6歳未満の町民については、正式に接種対象者となった場合、国の指示の下、速やかに接種

が実施できるよう努めていく。

【副町長】

④避難所の開設が見込まれる場合や必要がある場合には、ワクチン接種を中止し、指定避難所として開設することを考えている。日頃から会場利用等について、防災担当とワクチン接種担当との間で情報を共有しており、引き続き連携を図っていく。現時点ではマニュアルの作成までは考えていない。



高木 博之 議員

質問 1

地域防災計画修正と関連する策定業務について

問

いつ起こるか予想できない自然災害、特に大規模な地震

において、職員自身が被災者となり得る可能性が高い中で、

出動可能な職員や協力者を想定し、実践的な計画を策定すべきではないかと考える。

①非常時に出勤することができる職員と協力できる関係者は何人程度と想定しているか。また、応急対応計画の策定が必要ではないか。

②初期対応として「3日間までの対応が重要である」と考える。最優先すべき事項を決め、限られた人数の中で対応できるように、まずは被害状況を把握することが大切であると考えているが、その点について伺う。

【総務課長】

①参集等が必要とする地震が発生した場合、職員災害初動マニュアルに基づき、職員は庁舎へ参集することになっている。

関ヶ原町業務継続計画では、発生から1日目は約20%を想定し、その後、徐々に参集職員の増加を見込んでいる。災害の発生状況により、

消防団員や女性防火クラブ員の協力も必要となってくるが、

町職員及び団員、クラブ員自身が被災者となることも想定され、参集人員の事前把握は困難であると考えている。参集してきた職員により、被害状況の情報収集や避難所の開設など、応急業務対応をしていく。

②初動としては、正確な情報収集及びライフラインの被害状況の把握、避難所の開設などが中心になると想定している。その後の避難所では長期の滞在に向けた対応が必要となるが、町職員を数名配置することが困難な場合は、自助・共助による対応が重要となってくる。関ヶ原町では避難所運営指導者養成講座や避難所運営基礎講習を実施し、自助・共助の強化を図っている。

また、対策を早急に実施していく上で被害状況を把握することは重要なため、正確な情報収集に努めていきたい。

再質問

震度5以上の地震が発生した際は、参集の対象が全職員となるが、連続しての勤務は厳しく、2交代もしくは3交代での勤務が必要になると想定される。大規模災害時、町職員だけでは手が回らず、自助・共助が重要となってくる。南海トラフ地震のような災害がいつ起こるか分からないが、被害状況の把握など、どのような対応をするのか。また、発災後3日間程度の初期対応の工程について伺う。

【町長】

震度5強以上の地震が発生したという設定になると、家屋の倒壊や道路の寸断など、相当な被害が発生すると想定される。その中で町職員は速やかに参集し、適切に人員を配置し、被害状況の把握を第一に、被災者の避難所への収容などの任務に当たらなければいけない。被害状況の把握も職員だけでは不十分のため、

SNS等を活用し、町民の方からも情報を収集させていた
だくことで、正確に被害状況を把握し、初期の災害対応に
取り組むことができると考え
る。



田中 由紀子 議員

質問1 子どもの公園整備 について

問

子どもの公園整備は根強い
要望があるが、どのような方
針で進めようとしているのか。

答【教育長】

子どもたちに放課後や休日
を「健やかに」「安全に」「楽
しく」過ごしてほしいという
願いの下、学校のグラウンド
をはじめとする広場や公園の

整備に取り組んでいる。昨年
度は関ヶ原小学校のグラウン
ドに遊具を2基設置した。桃
配運動公園は管理人を常駐さ
せ、適切に維持管理をするこ
とにも施設の充実を図ってお
り、今年度はブランコを更新
する予定である。財政が逼迫
する中で公園を新設すること
は厳しく、既存の公園の遊具
も老朽化が進んでおり、課題
は多い。しかし、遊具ばかり
に頼るのではなく、子ども自
身が創意工夫した遊びを通し、
楽しく過ごしてほしいという
願いも強く持っている。今後
も公園の維持管理を中心に、
適地があれば新たな公園の整
備も図りたいと考えている。

再質問

関ヶ原町内には乳幼児が行
ける公園がない。小さなお子
さんが家族と気軽に出かけ、
自然の中で遊べるような公園
が必要だと思っている。役場
東側の町有地に保育園と併設
して公園を造るという案もあ
ったと思うが、保育園の建設

もなぜ決まらないのか。また、
記念館から笹尾山に向かう区
間は自然豊かで見晴らしも良
い。町民はもちろん、観光客
の方も遊ぶことができるので、
公園の予定地として検討して
はどうか。

答【町長】

財政的な問題や適地の問題
等から、公園の整備がなか
か進まないのが現状である。
保育園の建設場所についても、
町有地は駅舎等との絡みもあ
るため、慎重に検討し、決定
したいと考えている。町とし
ては、乳幼児から小学生まで
が使えるような公園を想定し
ているため、乳幼児中心とな
ると再検討しなければいけな
い。議員提案の場所も含め、
財政事情及び適地、構造など
を的確に判断しながら検討を
進めていくが、時間をいただ
きたい。

質問2 保育園、教育関係 者への頻回な抗原 検査を

問

64歳以下の接種についても
順次進めていくとのことだが、
全員の接種が終わるまでには
数カ月要する。その間、変異
ウィルスの感染拡大が懸念さ
れ、特に集団で生活している
保育園や学校での感染が心配
である。これまで子どもは新
型コロナウィルス感染症にか
かりにくいとされてきたが、
変異ウィルスは若い世代にも
感染が広がる傾向がある。危
機管理という観点から、保
育園、学校、放課後児童クラブ
などの関係者に抗原検査を頻
回に実施していただきたいが、
いかがか。

答【町長】

7月上旬より一般接種を進
めていく中で、教職員及び保
育士、放課後児童クラブ指導
員など、人との接触が多い従
事者を感染拡大防止の観点か
ら、優先的に接種対象者とし、

接種を進めていく。そのため、
頻回に抗原検査を実施するこ
とは現在のところ考えていな
い。

質問3 関ヶ原駅へのエレ ベーター早期実現 を

問

米原市近江長岡駅では、令
和2年から調査設計業務を開
始し、令和4年にエレベータ
ー2基の設置工事を予定して
いる。近江長岡駅の1日の平
均乗降客数は1,700人弱
と関ヶ原駅より少ないにも関
わらず、鉄道事業者が整備費
用の3分の1を負担すること
で合意したと聞き、希望が出
てきた。これまでは平均乗降
客数とホーム幅が狭いという
2つの課題があったが、平均
乗降客数は基準が2,000
人に引き下げられたこともあ
り、クリアできるものと考え
る。既存の跨線橋を活用して、
最小限の費用でエレベーター
の設置が早期に実現できるよ
う、鉄道事業者との協議を本

格化していただきたい。

答【町長】

エレベーター設置に関しては、多くの要望をいただいていることを踏まえ、JR東海との協議や岐阜県に対して支援の要望を続けている。バリアフリー法の改正に伴い、バリアフリー化の整備を取り巻く状況は一層改善されつつあるが、関ヶ原駅においては、跨線橋の架け替えや駅舎及び電気施設の移設等に多額の費用を要するため、協議や要望だけでは解決できない課題が残されている。コロナ禍で関ヶ原駅の利用者数も減少しているため、今後は他の施策と連携し、乗降客数の増加を目指すとともに、JR東海や関係各所との協議を積極的に推進していきたい。

再質問

コロナの影響で利用者が減っているのは事実だが、記念館ができたことで、観光客がJRを利用する機会は増えていると想定すると、2,000

0人はそんなに高いハードルではないと思われる。昨年、エレベーターを設置した駅に行ってきたところ、JRの規定より幅の狭いエレベーターが設置してあった。そこで、技術的な面は専門家の知恵をお借りする必要があるのではないかと。高齢者の方を筆頭に、早くエレベーターを設置してほしいという強い要望があるので、専門家の知恵をお借りして調査を進め、本格的にJRとの協議を始めていただきたい。

答【町長】

関ヶ原駅の場合は非常にホーム幅が狭い。さらに跨線橋もこの辺りでは最も古く、レールを加工したような鉄骨で造られており、この跨線橋にエレベーターを設置することは可能なのか、専門家に見ていただく必要はあると考える。このような跨線橋の構造等を考慮すると、エレベーターを設置するためには既存のものとは別の跨線橋を設ける必要

が出てくる。エレベーターの幅についても、今の関ヶ原駅のホーム幅にに応じてできないかということはJRにも相談しているところである。今後、財源問題や構造的な問題も含めて、町としても町民の福祉のため、できるだけ早く進めたいと思っている。

◆令和3年第4回定例会においても、新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、一般質問は再質問までとしております。

6月議会定例会の
傍聴者は
9名でした。

議会活動日誌

【5月】

16日 盲養護老人ホーム 優・悠・邑 和 竣工式典
19日 第1回西南濃町村議会議員会
24日 議会運営委員会

【6月】

1日 岐阜県町村議会議長会臨時総会及び第1回評議員会
4日 第4回議会定例会初日
9日 産業建設常任委員会
14日 第2回不破消防組合議会臨時会
18日 第4回議会定例会最終日
24日 第1回関ヶ原町の国民健康保険事業の運営に関する協議会
29日 南濃衛生施設利用事務組合議会臨時会

【7月】

8日 東海環状自動車道西回りルート建設促進大会
19日 環境審議会
26日 東海環状自動車道建設促進岐阜県西部協議会、国道21号・22号及び岐阜南部横断ハイウェイ整備促進期成同盟会、合同総会
30日 第1回関ヶ原合戦祭り実行委員会
30日 揖斐川流域住民の生命と生活を守る市町連合総会

9月定例会初日は
9月8日(水)

開催の予定です。

開催日は変更になる場合があります。
その他の日程を含め、決まり次第ホームページでお知らせします。

議会本会議の会議録は
ホームページで
ご覧になれます!

関ヶ原町議会

検索

